

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3301016	社会教育演習 B Seminar on Social Education B	大村 隆史	専門	1	選択	3年 後期

科目の概要

前期の授業を踏まえつつ、社会教育の施設や活動のうち、自身の興味があるものについて一つ取り上げ調査を行い、発表する。社会教育の現場において、どのような活動が行われ、職員はどのような役割を果たしているのかなどを実際に体験し、レジュメおよびレポートにまとめ、授業内でプレゼンテーションを行う。自身の目でみた社会教育を自身の言葉でまとめ、発表することで、身近にある社会教育の在り方や課題についての考察を行う。

学修内容	到達目標
① 社会教育の理念や歴史、法制度、行政、施設について学ぶ。	① これまで学んだ社会教育の基礎部分を振り返りながら、再度社会教育の基本的な理念、実践を理解する。
② 社会教育分野の歴史的な文献や最新の論文を読み、自身でまとめ、報告する。研究報告の基礎を学ぶ。	② 社会教育関連の書籍や論文を読み、要旨をレジュメにまとめ、授業で発表し、討論できる。
③ フィールドワークの方法について学び、調査を行う。また、調査結果をまとめ、報告を行う。	③ 自身の選んだフィールドで調査を実施し、調査結果を分析・考察し、レジュメおよびレポートにまとめる。また自身の調査について、授業内でプレゼンテーションを行うことができる。
④ 調査結果を踏まえつつ、自身で社会教育計画を計画・立案する。	④ 現地調査からの知見をいかしつつ、自身の社会教育を計画・立案できる。
⑤ 自身のフィールドワークなどを踏まえ、現在の社会教育が直面する課題について検討する。	⑤ 自身のフィールドワークを踏まえ、現在の社会教育における課題や展望を考察できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
主体性	さまざまな資料にあたり、自身で課題を発見し、考察を行う。
前 に 踏み出 す 力	
動きかけ力	
実行力	調査対象機関や施設を選出し、自身で調査計画を立て、調査(フィールドワーク)を実施する。
考 え 抜く 力	
課題発見力	社会教育の実態を把握し、そこでの成果と課題を掘り起こす。
計画力	
創造力	フィールドワークや授業でのディスカッション、プレゼンテーションを踏まえ、自ら社会教育計画を立案する。
チ ー ム で 働く 力	
発信力	社会教育の施設や関連の文献を調べ、グループディスカッションで出た意見などを踏まえ、その内容をレジュメおよびレポートにまとめ、プレゼンテーションを行う。
傾聴力	他者の発表を聞きつつ、考察を行い、課題を発見し、ディスカッションを行う。
柔軟性	
情 勢 把 握 力	
規 律 性	指示された内容に則ってフィールドワークを実施し、レジュメやレポートにまとめ、プレゼンテーションを行う。また、フィールドワークを実施する際は、倫理的配慮のもと実施する。
ス ト レ ス コ ン ト ロ ー ル 力	

テキスト及び参考文献

【テキスト】特に指定はせず、授業中に資料を配付する。講読の文献は授業中に指示する。

【参考文献】授業中に紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：社会教育主事資格（特に、社会教育演習 A）の科目を履修しておくことが望ましい。

資格との関連：社会教育主事（任用資格）

学修上の助言	受講生とのルール
日頃からさまざまな社会の動きに興味を持ち、情報を調べること。周囲の人々と現代社会が抱えるさまざまな課題について。 てディスカッションする機会を大切にしてほしい。また、ぜひ地元の社会教育施設に対し、関心を持ってほしい。	集中講義であるため、原則として授業にはすべて出席すること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	50	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	テーマ設定がしっかりとなされているか。 自身のフィールドワークについてわかりやすく書かれているか。 フィールドワークを通して発見した課題が指摘されているか。 発見した課題を踏まえ、社会教育計画が立案できているか。 結論のなかで、現在の社会教育が抱える課題と今後の展望が明示されているか。
成果発表 (口頭・実技)	40	① ② ✓ ③ ✓ ④ ⑤ ✓	プレゼンテーションを行うにあたって、自分で工夫してプレゼンを行っているか。 聴衆にわかりやすく資料を作成し、報告がなされているか。 テーマや結論が明確に伝わっているか。
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	(主体性) ・授業時のディスカッションに積極的に参加している。 (実行力) ・自身の計画に基づいて、フィールドワークを行うことができる。 (課題発見力) ・授業でのディスカッションやフィールドワークにおいて、自身の考える課題を見出し、それを明示することができる。 (創造力) ・自身のフィールドを決め、しっかりとフィールドワークを行っている。 (発信力) ・自身の考えや疑問点などをはつきりと示している。 (傾聴力) ・他の履修生の報告を聞き、質疑や討論に参加している。 (規律性) ・遅刻、無断欠席、学修意欲の欠如、課題やその他の提出物の未提出、グループ活動への非協力など、授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・フィールドワークを行う際に、調査先に迷惑をかけず、倫理規定を守ることができる。
その他			
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
A 評価の基準は、①社会教育の基礎や実践を理解したうえで、自身の考える社会教育の課題、在り方を明確化し、自身でテーマ設定し、社会教育施設などでフィールドワークを行っている、②フィールドワークの結果をわかりやすくレジュメにまとめ、自身で工夫しながらプレゼンテーションを行うことができている、③また、フィールドワークを通じ発見した課題を踏まえ、社会教育計画を立案している、④まとめとして、すべての履修生の報告やその後の討論を振り返りつつ、現在における社会教育の課題や今後の展望について考察し、発表している、の4点を満たしているかである。 S 評価の基準は、A 評価の基準に加え、自身の身近な課題に引き付けて考えることができており、実践に応用できるようなアイデア、企画を考察できているかどうかという観点から評価を行う。	社会教育の基礎や実践を理解したうえで、自身でテーマ設定し、社会教育施設などでフィールドワークを行っている。フィールドワークの結果をレジュメにまとめ、プレゼンテーションを行うことができている。自身の社会教育計画を立案している。まとめとして、現在における社会教育の課題や今後の展望について考察し、発表している。

回	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1回 /	「現代の社会教育」 現在、どのような社会教育の取り組みがあるのかについて、日本を中心に把握する。	講義	現在の社会教育の概要を把握し、自身の考える社会教育の課題を検討することができている。	(予習)これまで履修した社会教育の授業を振り返る。 (復習)1回目の授業内容を振り返る。	(予習復習合計) 60	課題発見力
2回 /	「調査法1」 基本的な調査の考え方および方法について講義する。	講義	基本的な調査の考え方および方法を理解し、自分が使用する調査方法を検討できている。	(復習) 調査のさまざまな方法を復習する。自分が採用したい方法を考察する。	60	課題発見力、発信力
3回 /	「調査法2」 フィールドワークの多様な方法について紹介する。	講義	フィールドワークの方法について理解し、自分が採用する方法を検討できている。	(復習) フィールドワークの方法を復習する。	60	課題発見力 発信力
4回 /	「文献講読の方法」 文献講読を通し、レポートや論文の書き方を学ぶ。	講義	文献講読により、レポートや論文の書き方の概要を理解できている。	(復習) 文献を実際に読み、レポートや論文の書き方を考える。	60	課題発見力 発信力
5回 /	「プレゼンテーションの方法」 プレゼンテーションのさまざまな形に触ることで、プレゼンテーションの方法を学ぶ。	講義	プレゼンテーションの方法を理解できている。	(予習)これまでの自分のプレゼンテーションを振り返る。 (復習) プrezentationの方法を復習する。	60	課題発見力
6回 /	「文献講読1」 指定された文献を読み、要旨をレジュメにまとめ、授業内で発表する。その後、全員で討論を行う。	講義および演習	文献内容を的確にレジュメにまとめ、授業内で発表できる。その後の討論に積極的に参加できる。	(予習) 指定された文献を予め読む。 (復習) 授業での討論の内容を振り返る。	60	課題発見力 発信力 主体性 傾聴力 規律性
7回 /	「文献講読2」 指定された文献を読み、要旨をレジュメにまとめ、授業内で発表する。その後、全員で討論を行う。	講義および演習	文献内容を的確にレジュメにまとめ、授業内で発表できる。その後の討論に積極的に参加できる。	(予習) 指定された文献を予め読む。 (復習) 授業での討論の内容を振り返る。	60	課題発見力 発信力 主体性 傾聴力 規律性
8回 /	「社会教育フィールドワーク1」 各自が選んだテーマおよび施設で調査した内容をレジュメにまとめ、プレゼンテーションを行う。その後、質疑および討論を行う。	講義および演習	自身の調査結果をレジュメにまとめ、プレゼンテーションできる。質疑・討論に積極的に参加している。	(予習) 自身のプレゼンテーションの準備を行う。 (復習) 授業での討論を振り返る。	60	発信力 傾聴力 実行力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性
ストレスコントロール力

回	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9回 /	「社会教育フィールドワーク2」各自が選んだテーマおよび施設で調査した内容をレジュメにまとめ、プレゼンテーションを行う。その後、質疑および討論を行う。	講義および演習	自身の調査結果をレジュメにまとめ、プレゼンテーションできる。質疑・討論に積極的に参加している。	(予習) 自身のプレゼンテーションの準備を行う。 (復習) 授業での討論を振り返る。	60	発信力 傾聴力 実行力 創造力
10回 /	「社会教育フィールドワーク3」各自が選んだテーマおよび施設で調査した内容をレジュメにまとめ、プレゼンテーションを行う。その後、質疑および討論を行う。	講義および演習	自身の調査結果をレジュメにまとめ、プレゼンテーションできる。質疑・討論に積極的に参加している。	(予習) 自身のプレゼンテーションの準備を行う。 (復習) 授業での討論を振り返る。	60	発信力 傾聴力 実行力 創造力
11回 /	「社会教育フィールドワーク4」各自が選んだテーマおよび施設で調査した内容をレジュメにまとめ、プレゼンテーションを行う。その後、質疑および討論を行う。	講義および演習	自身の調査結果をレジュメにまとめ、プレゼンテーションできる。質疑・討論に積極的に参加している。	(予習) 自身のプレゼンテーションの準備を行う。 (復習) 授業での討論を振り返る。	60	発信力 傾聴力 実行力 創造力
12回 /	「社会教育フィールドワーク5」各自が選んだテーマおよび施設で調査した内容をレジュメにまとめ、プレゼンテーションを行う。その後、質疑および討論を行う。	講義および演習	自身の調査結果をレジュメにまとめ、プレゼンテーションできる。質疑・討論に積極的に参加している。	(予習) 自身のプレゼンテーションの準備を行う。 (復習) 授業での討論を振り返る。	60	発信力 傾聴力 実行力 創造力
13回 /	「社会教育フィールドワーク6」各自が選んだテーマおよび施設で調査した内容をレジュメにまとめ、プレゼンテーションを行う。その後、質疑および討論を行う。	講義および演習	自身の調査結果をレジュメにまとめ、プレゼンテーションできる。質疑・討論に積極的に参加している。	(予習) 自身のプレゼンテーションの準備を行う。 (復習) 授業での討論を振り返る。	60	発信力 傾聴力 実行力 創造力
14回 /	「社会教育フィールドワーク7」各自が選んだテーマおよび施設で調査した内容をレジュメにまとめ、プレゼンテーションを行う。その後、質疑および討論を行う。	講義および演習	自身の調査結果をレジュメにまとめ、プレゼンテーションできる。質疑・討論に積極的に参加している。	(予習) 自身のプレゼンテーションの準備を行う。 (復習) 授業での討論を振り返る。	60	発信力 傾聴力 実行力 創造力
15回 /	「まとめ」自身の調査を踏まえながら、現代の社会教育の在り方、課題について考察、討論を行う。	講義および演習	現在の社会教育の課題を把握し、今後の社会教育の在り方について考察、討論ができる。	(予習・復習) 授業全体を振り返りつつ、自身の考える社会教育を考察する。	60	課題発見力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性
ストレスコントロール力